



輝かしい未来の為に

PTA会長 金谷 哲

爽やかな秋風が吹き抜けるこの美しい季節に、秋田県立能代高等学校創立八十周年記念式典が挙行されますこと、心からお祝い申し上げます。

校訓「至誠力行」のもと、能代山本地区の教育界のリーダーとして、一万九千百名を越える卒業生を輩出した八十年の歴史は、非常に重くそして輝かしいものであります。これまでに、幾多の優秀な人材を世に送り出すことができたのは、校是「文武両道」を根幹とした高い教育目標（克己誠実、自発学習、部活精励）を着実に実践してきた努力の賜物であります。

さて、昨今「第五次秋田県高等学校総合整備計画・後期計画案」に則した改善計画が徐々に実行に移され、本校を取り巻く教育環境に大きな変化が訪れようとしています。高校入学者選抜制度の見直しによる他通学区からの受け入れの弾力化、生徒数減少に対応しての学級数の減少、能代地区の高校再編計画など、いくつかの変化が現実化しつつあります。その中の能代地区高校再編計画において、本校は「高等教育機関への進学を目指し、社会に貢献できる人材を育成する高校」と明確に位置づけられており、改めてこの地域における本校の果たす役割の重要性を認識するとともに、八十年の歴史と伝統を築いてこられた先輩諸兄、学校関係者の皆さまの努力に深甚なる敬意を表する次第であります。

ここ数年の間に、若者の社会生活に対する考え方に大きな変化が見られるようになりました。働く意思がなく、学校にも行かない「ニ

ト（NEET）」と呼ばれる若者の増加が深刻化し、定職につかないフリーターや社会生活を営むことが困難な引きこもりとともに大きな問題となっております。現在、フリーターは二百万人超、ニートは二十四万人いると言われ、我が国が人口減少に向かいつつある今、労働力人口の漸減にさらに拍車を掛けることが予測されます。若年層の就労離れは、我が国の社会及び経済発展を減退させるものであり、社会システムの維持の見地からも死力を尽くして防御し、負の方向性を正の方向性に逆転させなければなりません。本校と致しましても、この問題を単なる社会現象や他人事として片付けることなく、思春期を迎えた本人とその保護者が、真摯に真つ向から立ち向かわなければならぬ問題として認識しなければなりません。

この八十周年という節目にあたり、生徒諸君は、これから社会を担っていく自分とは、どのような将来の出来うる最大限の努力をし、将来をはっきりと見据えていただきたいと思えます。そして、我々保護者は、学校と強く連携しながら、生徒諸君の確固とした未来の為に共に考え、全力で支援していかねばならないと考えます。

最後になりましたが、これまでの創立八十周年事業に対するPTA会員皆さまの絶大なご協力に深く感謝申し上げますと共に、本校の益々の発展と、生徒諸君の輝かしい未来を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。